

ハイチの貧しい子供たちのためのセスラ校を支援して23年。どんなに治安が悪化しても、私たちは教育の灯を守ります。

こころのビタミン研究所は、2017年よりハイチ支援として「NPOハイチの会セスラ」を支援しています。

代表の高岡美智子さんは2003年にハイチでマリクレールさんに出会いました。マリクレールさんは公立校の教師を退職後、ボンレポス地区に私財でセスラ校を作り、貧しくて学校に通えない子供たちを教育していました。高岡さんはマリクレールさんに感動し、セスラ校を支援しようと、帰国後すぐに「ハイチの会セスラ」を立ち上げました。寄付を募り、モーリヤンク地区にもセスラ校を作り、2つの学校を支援してきました。しかし深刻な治安悪化のため、住民が逃げ出し、モーリヤンク校は休校を余儀なくされ、現在はボンレポス校で57人の子どもたちが学んでいます。



セスラ校では給食も提供しています

高岡さんは「ボンレポス校も経営危機の中、こころのビタミン研究所のご支援は本当にありがたく、定期的にハイチに送金することができています」とおっしゃっています。

「ハイチの会セスラ」の相談役でフォトジャーナリストの佐藤文則さんは、何度もセンチルさんの医療保健センターを取材し、また2018年には高岡さんもセンチルさんの医療保健センターを訪問し、2019年のハートフルファミリーの集いで視察報告をしてくださいました。

ESP学園の学園祭に今年も「カードの館」を出展しました!

<アンケート回答から>

今の心情に刺さって、いい時間になりました!

他人は自分を映す鏡だという気づきを大切にします!

2年連続の参加です! 卒業してもまた来たいです!



相談員2人体制で今年もフル稼働

こころのビタミン研究所は相談事業として、2006年より専門学校ESPエンタテインメント東京の「なんでも相談室」に相談員を派遣し、例年秋の学園祭に、「カードの館」を出展しています。昨年は11月1日・2日の2日間で、在校生・ご友人・卒業生・学校職員の方・ご家族等59名の方にセルフセラピーカードによるリーディングを体験していただきました。

「学業だけでなく、恋愛や友人関係等も相談できるんですね」「教職員ですが、利用できますか」との声もあり、学園祭への出展が、実際の相談員にも接する機会となって、相談室へのハードルを下げることに役立っていると感じました。「なんでも相談室」が「すべての人にこころの相談相手を」実現のひとつの場所となるよう、取り組みを継続していきます。

学園の担当者の方のアドバイスを取り入れた看板

こころのビタミン研究所の活動にご支援お願いいたします! →ご寄付はホームページからお申込みいただけます

ホームページからは、クレジットカードでの寄付、ハートフルファミリー会員の申込みも可能です。

【振込先】 郵便局: ゆうちょ銀行 記号10100 番号77011271

銀行口座: 三井住友銀行 三田通支店 普通7852939

【口座名(郵便局・銀行共)】 特定非営利活動法人こころのビタミン研究所

QRコード▶
こころのビタミン研究所
ホームページ



〒108-0073 東京都港区三田3-1-5 第一奈半利川ビル3F
TEL 03-5765-1956 FAX 03-5765-1961 E-mail info@cocoro-v.org
URL https://www.cocoro-v.org ブログ https://ameblo.jp/cocoro-v
Facebook 認定NPO法人こころのビタミン研究所



人類愛、つながろうとする心を 持ち続けましょう

ハートフルファミリー会員の皆様、寄付者の皆様には、日頃よりご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年のインターナショナルトレーニングでは、政変の影響で一昨年は来日が急遽中止になったミトンさん、アンジュさんをお迎えすることができました。チャリティーオークションで世界各国から集まった参加者が、笑顔で豊かさを分かち合う姿は、世界平和が実現したビジョンを先取りしたような美しい光景でした。

私の小さい孫達を見ると、世界のどこでも、子ども達が戦争や飢餓のために死ぬことなどあってはならない、誰し

代表理事

栗原弘美



もに教育や就労の機会が与えられる平和で豊かな世界であって欲しいと、改めて強く感じます。バングラデシュの選挙も今年2月に無事終了したので、これからは安全に渡航できる国となることを期待しています。

人類愛、つながろうとする心を持ち続け、未来への投資を共に続けてくださる皆様に心から承認し、感謝いたします。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

インターナショナルトレーニング チャリティーオークション報告

世界各国からの参加者が貢献を 共に楽しむチャリティーオークションで、 481万円もの寄付が集まりました!

8月9日～16日にビジョン心理学インターナショナルトレーニングが、東京芝の専売ホールで開催され、今年はこちらのビタミン研究所の招待で、バングラデシュからBBF代表のミトンさん、副代表のアンジュさんも参加しました。セミナー2日目には、こころのビタミン研究所の紹介の時間がもたれ、ミトンさん、アンジュさんから直接これまでの支援への感謝と、飢餓克服後の次のビジョンの進展が報告されました。アンジュさんは、今回のために娘さん達とプレスレットやネックレス等を多数作成し出品、参加者の皆様からも素晴らしい品々が今年も多く提供され、吉田真美理事の名司会により、次々と高値で競り落とされ、貢献を楽しむ熱気は最高潮に。募金も含め約481万円ものご寄付が集まりました。皆様の熱いご支援に心から感謝いたします。



総立ちで盛り上がる会場



オークションで競り落とされたチャック博士のアロハをプレゼントされ笑顔のミトンさん

～4月18日、ハートフルファミリーの集い連動企画～

こころのビタミン研究所のキーパーソン4人によるパネルディスカッションをお楽しみに！

長年のボランティア活動を振り返る

4月18日の「ハートフルファミリーの集い」は、長年、世界から飢餓をなくすボランティア活動を続けているこころのビタミン研究所の4人のキーパーソン、代表理事の栗原弘美さん、理事の栗原英彰さん、副代表理事の中野隆一さん、理事の柁津都子さんをパネラーに迎え、ボランティア活動への想いなどを語り合ってください。それに先立ち、この40年間の活動をダイジェストでお伝えします。



栗原弘美さん 栗原英彰さん 柁津都子さん 中野隆一さん

始まりは1985年、40年前から

1985年頃から、弘美さんは「世界から飢餓をなくそう」という米国に本部を置く国際NGOハンガー・プロジェクトの日本支部がある事は知っていましたが、本気で参加しようと思ったのは、1988年、米国で「ワールド・ゲーム」に参加したのがきっかけでした。弘美さんは日頃から「世界平和」をビジョンとしている英彰さんを誘い二人で参加しました。このゲームは、世界中からの参加者1800人が世界各地の代表となり、食料、エネルギー、お金など様々な分野で貧富の格差を体験するワークショップで、この疑似体験に非常に衝撃を受け、ハンガー・プロジェクトに参加しようと思案しました。この「ワールド・ゲーム」が行なわれたイベント「チョイス・シンポジウム」の主催者は、歌手のジョン・デンバーの財団で、彼はハンガー・プロジェクトの世界理事でもありました。

一方、普通の主婦で会社員だった柁津さんは1985年にハンガー・プロジェクトと出会い、子どもが飢餓で死んでいくのは許しがたいと思い、1987年にハンガー・プロジェクトのスタッフになりました。そして1991年から7年間ハンガー・プロジェクトの理事長を務め、弘美さんは1993年から理事となり共に活動してきました。

英彰さんと弘美さんは1991年、経済的に厳しい時に各々100万円を寄付し、またインドでの「キッチン・ガーデン・プロジェクト」やバングラデシュの学校建設などに多大な貢献をしました。



1992年、講演のため来日したインドのラリータさん(左)と弘美さん(右)、柁津さん(右奥)。この講演から「キッチン・ガーデン・プロジェクト」が始まった。

1995年「地球子ども会議」ミトンさん、センチルさんとの出会い

柁津さんは1990年に青少年組織ユース・エンディング・ハンガー(YEH)を立ち上げ、翌年、京都で「地球子ども会議第1回世界大会」を開催しました。この会議には60か国から350人の青少年が参加しました。1995年にはニューヨークで「地球子ども会議第2回世界大会」を開催。弘美さんの長男昭文君も参加しました。10歳の昭文君は最年少の参加者でした。又この会議にはバングラデシュのミトンさん、ハイチのセンチルさんが参加していました。この時から30年、ミトンさん、センチルさんも飢餓を終わらせるパートナーとして共に活動しています。

同年の1995年、弘美さんは女性のグループ、ウィメン・エンディング・ハンガー(WEH)の代表となり、ガーナでの「女性のための職業訓練センター」の設立、日本のガーナ大使館でのイベント、チャリティコンサートなど様々な活動をしました。

1999年、弘美さんと英彰さん、初のバングラデシュ訪問

1999年3月に弘美さんと英彰さんが初めてバングラデシュを訪問した時、柁津さんも同行しました。極貧のスラムで弘美さんは人々が座っているむしろに座り込み、英彰さんは「ビジョンは何ですか?」と問いました。「住むところが欲しい」「トイレが欲しい」「仕事が欲しい」など様々な訴えに、二人は深くうなずいていました。

翌年2000年1月、弘美さんは著書「I WANT TO LIVE 飢餓なき世界へ」を出版しました。

2000年、ハンガー・プロジェクトからHFWへ 2001年、NPOこころのビタミン研究所、誕生!

2000年6月に日本のハンガー・プロジェクトは米国本部から卒業し、日本のNPO、ハンガー・フリー・ワールド(HFW)として新たな歩みを始めました。同時にYEH各国リーダーだったミトンさんはHFWバングラデシュの事務局長に、センチルさんはHFWハイチの事務局長に就任しました。

この時、ミトンさんは英彰さん、弘美さんと共に、「2021年、建

国50周年までにバングラデシュの飢餓を終わらせる」というビジョンを創りました。

2001年、NPOこころのビタミン研究所設立。弘美さんは2003年～2015年まで13年間、バングラデシュの首都ダッカでセミナー「バングラデシュの飢餓を終わらせるためのビジョン、リーダーシップ、パートナーシップ」をリードしました。英彰さん、ビジョン心理学共同創始者のレンシーさんも一度、弘美さんと共にセミナーを行いました。中野さんも毎年同行し、セミナーのサポートや現地視察の記録を撮り続けました。



2012年ダッカでセミナーをリードする栗原夫妻

2006年から、こころのビタミン研究所はハイチのセンチルさんの医療保健センターも支援し始めました。

2002年、中野さんはミトンさんのスピーチに感銘を受けて

中野さんは、こころのビタミン研究所の設立以前から、弘美さんと共にWEHの活動に参加していましたが、心の底から支援したいと思ったのは、2002年にミトンさんの講演を聞いた時でした。アジアの最貧国から来て、どうせお金を下さいと言うのだろうという会場の雰囲気だったのですが、ミトンさんのスピーチは全く違いました。ミトンさんの言葉、人柄に深く感動し、その時から中野さんはずっとバングラデシュ支援を続け、今ではミトンさんとは兄弟のような絆で結ばれています。

2000年にミトンさんが英彰さん、弘美さんとビジョンを創作してから21年後の2021年、ミトンさんは見事「自国の飢餓を終わらせる」というビジョンを達成したことは、皆さんも周知のとおりです。

そして今年、ミトンさんはHFWを卒業し、BBFの最高責任者(CEO)として、新たなビジョンに向かって進んでいます。

以上「ハートフルファミリーの集い」に向けての事前情報をお届けしました。当日は、4人の方からボランティア活動に参加したきっかけ、何を決意し、どう行動したのか、長年続けている理由、今後のビジョンなど存分に分かち合ってください。どうぞお楽しみに!

ハートフルファミリーの集い

- 日時: 2026年4月18日(土) 17:00～18:30
- 会場: オンライン(Zoom) ● 参加費: 無料
- 申し込み方法: こころのビタミン研究所HP (<https://www.cocoro-v.org/>) または右のQRコードよりお申込みください。
- 申し込み締切日: 4月17日(金)
- 参加者: ◇ハートフルファミリー(賛助会員) ◇支援者(これまで寄付下さった方) ◇上記の方から招待された方



「飢餓のないバングラデシュ」から「豊かなバングラデシュ」へ ミトンさんとアンジュさんの新たな冒険の旅がスタート!

ミトンさんは、2000年から25年間、ハンガー・フリー・ワールド(HFW)バングラデシュの事務局長を務める傍ら、数年前に自国のNGOピコシト・バングラデシュ・ファウンデーション(BBF)を立ち上げ、二つの団体を運営してきました。ミトンさんとHFW日本本部はこれまで綿密な協議を続けた結果、HFWはバングラデシュでの活動をBBFに継承することを決定し、昨年12月18日にダッカでその基本合意の調印式が行われました。そして今年1月1日からは、ミトンさんはじめ現地HFWのスタッフは全員BBFに移籍し、HFWの事業はBBFに統合され、新たな一歩を踏み出しました。この合意ではHFW日本本部は2030年まで段階的にBBFへの支援額を縮小し、事業のノウハウや資産はBBFに譲渡されます。ミトンさんやアンジュさんたちのHFWでの25年間の懸命な働きでバングラデシュの飢餓が終わり、現地NGOのBBFに継承できたことは、HFWとしても国際NGOの到達点として素晴らしい成功例と言えるでしょう。

現在、バングラデシュは飢餓を終わらせたとは言え、急速な経済発展により、貧富の格差が激しく、人口の15%が一日300円以下で暮らしており、貧困問題はまだまだ深刻です。ミトンさんは貧しい人々、特に女性や母親、子どもたちが健康に幸せに暮らせるバングラデシュを目指して、新たな挑戦の道を選びました。

ミトンさんは昨年4月に来日した際、栗原英彰さんの言葉にインスピレーションを受け、「豊かなバングラデシュ」という新たなビジョンを創りました。飢餓のないバングラデシュから「豊かなバングラデシュ」へ。ミトンさんの次なるビジョン実現のために、私たちこころのビタミン研究所はBBFの心強いパートナーとして、共に歩んでいきましょう!



バングラデシュ ダッカでの調印式風景